

---

# 說明資料

---



# 発言の趣旨

- \* ボトル to ボトル取り組みのきっかけ

- \* きっかけは「なぜボトルからボトルに戻さないんですか?」という声

- \* ボトル to ボトルによって活発化する国内循環

- \* 海外への流れを止めて貴重な資源を国内へ回帰させるためのB to B

- \* 制度への期待

- \* 将来性の高い、重要な用途に関する保護・育成

- \* 地域への貢献、製品品質、お客様からの評価、技術の先進性などへの適正な評価

- \* 変化の激しい石油由来PET樹脂の大きな市況変動への対応

ペットボトルは



変身上手！



ぬいぐるみ綿



洗剤ボトル



ネクタイ



フリースなど衣料品



たまごパック



文房具

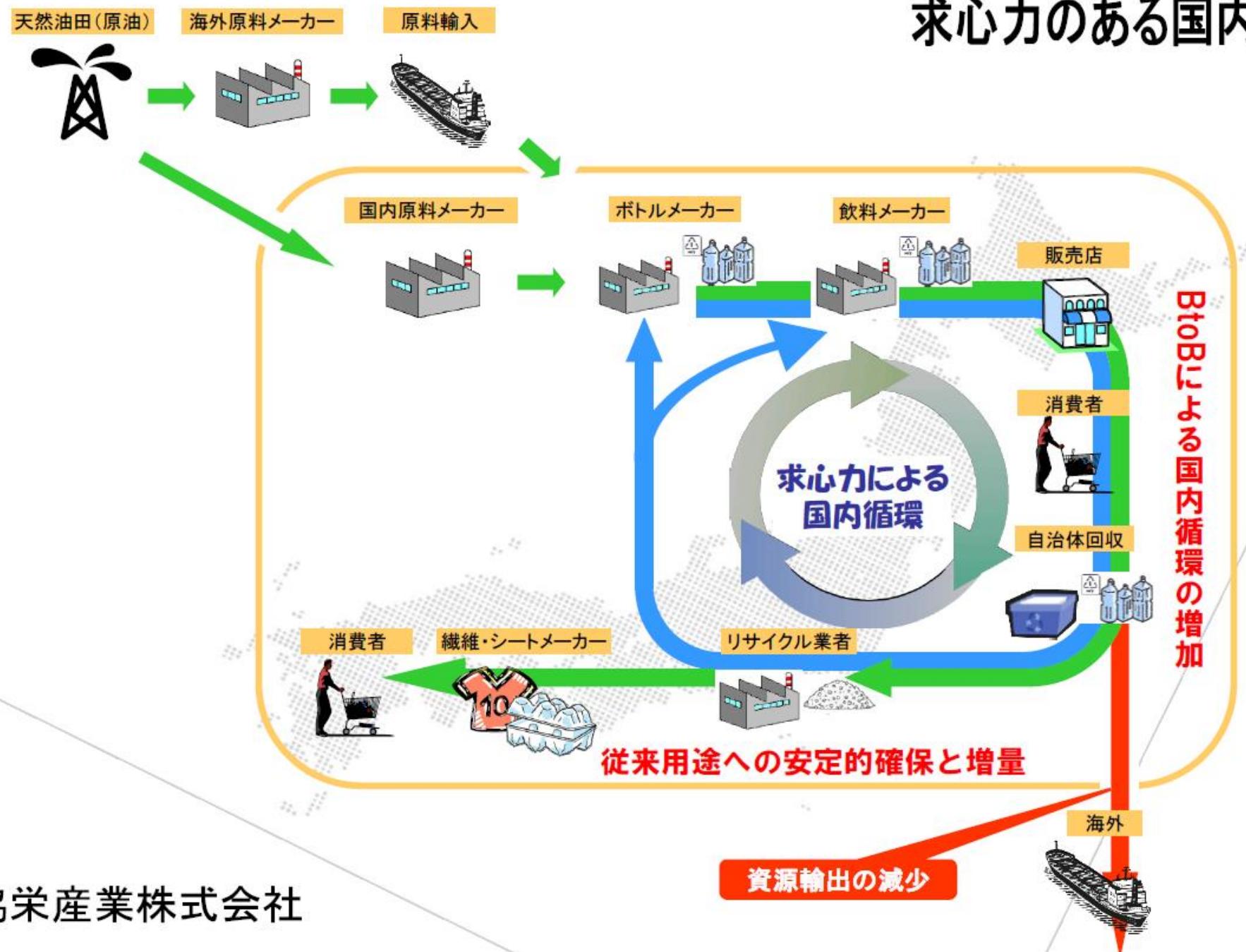


飲料ボトル

# 制度による「Uの字」リサイクルが 遠心力の働きにより「Lの字」へ変化 (新興国の資源需要)



# 「BtoBループ」=「0の字」リサイクルの実現 求心力のある国内資源循環



# 資源・環境制約への対応



## 国内循環した場合

### 環境制約への対応 「大きなCO<sub>2</sub>削減効果」

1 KgのPETボトルをリサイクルしバージン原料に置き換えると0.994KgのCO<sub>2</sub>削減効果がある（弊社実績）。

従って、市町村から排出される廃PETボトルがリサイクルされれば約30万トンのCO<sub>2</sub>削減効果が期待できる。

### 資源制約への対応 「原油使用量の抑制」

廃PETボトルがリサイクルされてバージン原料に置き換わると、バージン原料を製造するためには必要な原油やバージン原料輸入の大幅削減が期待できる。

## 海外輸出した場合

### 輸出相手国の資源・環境制約対応に役立つ

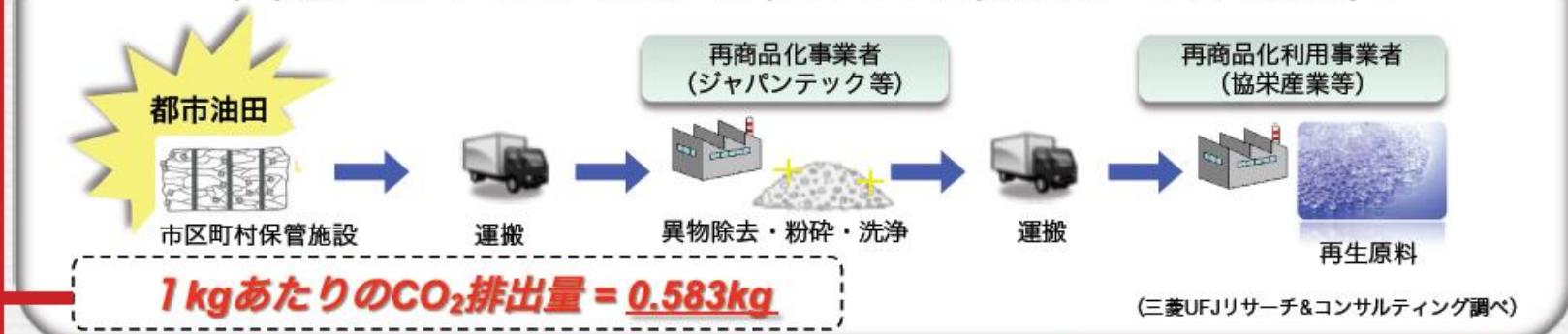
「CO<sub>2</sub>削減効果」も「原油使用量の抑制」も輸出相手国で効果として取り込まれるが、国内での効果は発生しない。

# CO<sub>2</sub>削減効果の検証

## 原油からPET樹脂ができる過程



## 回収ペットボトルから再生PET樹脂ができる過程



1 kgあたりのCO<sub>2</sub>削減量

$$\begin{array}{r} \text{原油由来} \\ 1.577\text{kg} \end{array} - \begin{array}{r} \text{ペットボトル由来} \\ 0.583\text{kg} \end{array} = \begin{array}{r} \text{削減量} \\ 0.994\text{kg} \end{array}$$

-63%

# 激増した海外向け輸出

